

## 2017年度（平成29年度）事業計画(案)

### 1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第10章27節

### 2. 事業計画

- ・評議員会の開催 6月・3月・随時
- ・理事会の開催 6月・11月・3月・随時
- ・監事監査の実施 5月・随時

### 3. その他の事業計画

- ・役員等研修会及び懇談会 随時参加・必要に応じ開催
- ・(仮称)愛隣を支える後援会づくり

現在、愛隣保育園やガリラヤ荘は、個人やグループによるボランティア活動をはじめ地域の方々や利用者の家族、福祉関係者、教会、法人関係者等にご支援ご協力をいただいている。今後も多くの方々に「より積極的・継続的」に法人の事業をご支援いただける後援会を組織したくその準備の年としたい。

### 4. 法人の事業計画の推進について

社会福祉法人の運営のあり方について、本年度スタートする新社会福祉法では、質の高いサービスの提供、経営の効率化や基盤強化、地域社会への貢献等を今まで以上に強く求めている。

今年度も、社会福祉法人愛隣園は、新規事業のガリラヤ久米の設置運営を含め、乳幼児保育、高齢者福祉及び地域福祉の向上に積極的に取り組みたい。

◇新法人組織、議決機関となった評議員会、業務執行機関としての理事会のあり方等についてさらに研究・精査しその運営強化を図りたい。

◇愛隣保育園は、新園舎での保育が開始され1年が経過、今年度より子ども・子育て支援新制度による「幼保連携型認定こども園」へ移行、「愛隣こども園」と改称する。新制度での乳幼児保育のあり方を探求し実践していきたい。

◇ガリラヤ荘は、昨年と同じように安定した運営、より質の高いサービスの提供、地域の高齢者支援の拠点としての施設づくりを積極的に展開したい。

◇ガリラヤ久米は、新たな高齢者支援の拠点として地域と共に歩む施設づくり、新職員研修等を通して質の高い福祉サービスの提供に努力したい。

# 2017年度(平成29年度)事業計画 (案)

愛隣こども園

## 1. 保育・教育 理念

多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育をすることで、他者とともに生きることのできる子どもに育てる。

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい。」 (聖書のことばから)

## 2. 保育・教育 方針

### (1)「地域の人々とともに」

過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々とともに交流し、保護者の家庭を含めて共生する使命があります。

### (2)「基本的習慣を身につけ養う」

他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、人権を育てることであります。

## 3. 保育・教育 目標

- (1) 基本的生活習慣(しつけ)を身につけよう。
- (2) 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
- (3) 自分を豊かに表現できる子どもになろう。
- (4) 主体的に活動できる子どもになろう。

## 4. 乳幼児利用予定数

| 認定区分  | 3号認定<br>(保育認定) |     |     | 2号認定<br>(保育認定) |     |     | 1号認定<br>(教育標準時間認定) |     |     |     |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|--------------------|-----|-----|-----|
|       | 年齢             | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児            | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児                | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
| 定員    | 66名            | 3名  | 6名  | 12名            | 13名 | 13名 | 13名                | 2名  | 2名  | 2名  |
| 4月予定数 | 68名            | 4名  | 11名 | 12名            | 15名 | 12名 | 14名                | 0名  | 0名  | 0名  |

(参考)

|     |         |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 定員  | 60名     | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計   |
| 60名 | 28年度末人数 | 10名 | 10名 | 15名 | 12名 | 14名 | 14名 | 75名 |

## 5. 職員数 (4月1日予定)

|       | 園長 | 主幹<br>保育教諭 | 保育教諭 | 保育士 | 調理員 | 事務員 | 計   |
|-------|----|------------|------|-----|-----|-----|-----|
| 正規職員  | 1名 | 1名         | 9名   |     | 2名  |     | 13名 |
| 臨時職員  |    |            | 4名   | 1名  | 1名  | 1名  | 7名  |
| パート職員 |    |            | 1名   |     |     |     | 1名  |
| 計     | 1名 | 1名         | 14名  | 1名  | 3名  | 1名  | 21名 |

※嘱託の園医1名・園歯科医1名・園薬剤師1名

## 6. 地域子育て支援拠点事業の開始

平成29年度より松山市の委託を受けて、地域子育て支援拠点事業を行う。園内の地域交流室を主な活動場所とする。

主な活動として、育児相談、地域交流室(一部ホール)・園庭の開放・育児講座の開催、地域の施設との連携、情報提供等を行う予定。専任の職員2名を置く。

この事業の開始に伴い、自主事業で行っていた保育所体験事業を終了する。

愛隣こども園 2017(平成29)年度 保育・教育課程 (案)

|                     |  |   |   |
|---------------------|--|---|---|
| <p>保育教育理念</p>       | <p>多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育をすることで、他者とともに生きることのできる子どもに育てる。<br/>「自分を愛するようになつた隣人を愛しなさい」<br/>(聖書のことばから)</p>  | <p>保育教育方針</p>   | <p>1. 「地域の人々とともに」<br/>過疎化が進み高齢者が多くなつてきました。地域の人間とともに交流し、保護者の家庭を含めて共生する使命があります。<br/>2. 「基本的習慣を身につけよう」<br/>他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、人権を育てることでもあります。</p>   |
| <p>保育教育目標</p>       | <p>① 基本的生活習慣(しつけ)を身につけよう<br/>② 他の子どもとともに生きる子どもになろう</p>   | <p>③ 自分を豊かに表現できる子どもになろう<br/>④ 主体的に活動できる子どもになろう</p>  | <p>主な行事<br/>入園式・誕生日会<br/>歓迎遠足・カトリック幼稚園・幼稚園<br/>花の日・海水浴・敬老参観日・運動会<br/>秋の遠足・トロッコ列車遠足・感謝祭<br/>クリスマス会・もちつき大会・お別れ遠足<br/>運動会・卒園式</p>  |
| <p>基本的社会的責任</p>     | <p>三津地区は昔の漁村、商店街等の人々の賑わい町であったが、昨今、若者が他町へ、高齢者が増加し、また家族、母子家庭も増え、これらの人々と交流し、保護者の家庭を含め共生する。希望に応じて延長保育、土曜午後保育、一時預かり保育事業を行う。地域子育て支援拠点事業で地域の美観を把握しニーズに応える。<br/>地域子育て支援拠点事業<br/>育児相談、地域交流室(一部ホール)・園庭の開放、育児講座、地域の施設との連携、情報提供等<br/>近隣の高齢者、本園児や地域の原重と交流</p> | <p>保育時間<br/>保育標準時間 7:00~18:00<br/>保育短時間 8:30~16:30<br/>教育時間 9:00~13:00(月~金)<br/>一時預かり 8:30~17:00(月~金)<br/>延長保育 18:00~19:00(月~金)<br/>土曜保育 7:00~18:00</p> | <p>0歳児 衛生的で安全な環境の中、心身ともに快適に生活する<br/>1歳児 基本的な生活習慣がある程度自立し、できる喜びを味わう<br/>2歳児 衛生的で安全な環境の中、心身ともに快適に生活する<br/>3歳児 基本的な生活習慣がある程度自立し、できる喜びを味わう<br/>4歳児 仲間とのつながりを深め他者と協同して生活する<br/>5歳児 様々な活動や遊戯を通して達成感や自分への自信を持つ</p> |
| <p>発達過程とクラスの関係性</p> | <p>発達過程とクラスの関係性<br/>発達過程とクラスの関係性<br/>発達過程とクラスの関係性</p>  | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>養護</p>           | <p>生命の保持<br/>一人ひとりの生活リズムを整え、生理的欲求を満たすようにする。<br/>情緒の安定<br/>特定の大人との密着的な関わりにより、情緒的な絆を深めるようにする。</p>  | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>健康</p>           | <p>十分に体を動かすことの心地良さを味わう。様々な遊びを通して身体の発達を促す。<br/>保育教諭や友達との関わりの中で、生活し、その中で様々な気付きを得る。</p>   | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>人間関係</p>         | <p>安心できる人間的環境の下で様々な感覚の動きを豊かにする。<br/>広大な園庭の中で、仲間と遊びながら、遊戯の楽しさを味わう。</p>  | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>言葉</p>           | <p>保育教諭や友達との関わりの中で、コミュニケーションの基礎を作る。<br/>十分に素材に触れ、全身でその感覚を楽しむ。</p>  | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>表現</p>           | <p>食べたいという意欲の形成を図る。<br/>食卓の環境を整備し、生命の保持と情緒の安定を図る。</p>  | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>食育</p>           | <p>食卓の環境を整備し、生命の保持と情緒の安定を図る。<br/>食卓の環境を整備し、生命の保持と情緒の安定を図る。</p>   | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>健康支援</p>         | <p>年2回嘱託医による内科検診、歯科検診<br/>健康状態、発育発達状態の把握<br/>異常が認められた時の対応</p>  | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>環境・衛生管理</p>      | <p>施設内外の設備、用具等の安全管理、自主点検<br/>施設内外の設備、用具等の清掃、消毒<br/>全職員検便(年2回)</p>  | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>安全対策</p>         | <p>毎日巡回避難(避難・消火)を実施<br/>非常通報器点検<br/>事故防止</p>   | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |
| <p>事故防止</p>         | <p>巡回立ち入り検査<br/>救急処置講習(AEDを含む)<br/>警備会社と契約</p>   | <p>3歳児 3歳児<br/>4歳児 4歳児<br/>5歳児 5歳児</p>  | <p>5歳児</p>  |

1.運営理念

『 今、ここで生きている  
人々に寄り添うことを使命とする 』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 ..... 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 ..... 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 ..... 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 ..... 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》 平穩ケア(トータルケア)の構築
- 《2》 安心と信頼ある地域密着の施設創り
- 《3》 人材育成と安定した施設運営の基盤整備

4.重点目標に対する取り組み

| No | 基本方針   | 重点目標   | 取組事項                          | 取組内容  |
|----|--------|--------|-------------------------------|---|
| 1  | I IV   | 《1》    | 命と尊厳を守り<br>安心して生活<br>できる施設づくり | ① 職員の基礎介護力を高め、多職種協働によるトータルケアの実践(実践事例発表会の実施)<br>② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底。<br>③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底。(集団発生0件目標) |
| 2  | II III | 《1》《2》 | 在宅生活継続<br>の支援                 | ① 地域関係機関と連携し、地域の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進。<br>② 社会福祉資源として、地域活動の推進(おとこ塾・地域サロンへの出前講座等)<br>③ 在宅生活をトータル的にサポートするために在宅部門の連携。(トータルケアの実践)    |
| 3  | III    | 《2》《3》 | 地域・広報活動<br>の充実                | ① ホームページ・ブログ等による情報発信と、新パンフレットの作成。<br>② 幼・保育園・学校との交流と、住民ボランティアの積極的受入れ(地域住民防災組織との連携)  |
| 4  | IV     | 《3》    | やりがいを感じ<br>働きやすい<br>職場づくり     | ① スタッフ心身の徹底(えがお大賞実施)と、職員育成の推進<br>② リフレッシュ休暇の計画的取得とストレスマネジメント対応(ストレスチェック実施)  |
| 5  |        | 《3》    | 安定運営の<br>確保                   | ① 各事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。<br>② 施設運営に関わる財務・組織・事業管理等を再編し、基盤の整備と強化を図る。  |

事業所名(部署) 特別養護老人ホーム・短期入所

| 1.運営理念         | 『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』  |      |  |
|----------------|--|------|--|
| 2.基本方針         | <p>I 個別援助の徹底 ..... 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。</p> <p>II 地域包括ケアの推進 ..... 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。</p> <p>III 地域福祉の推進 ..... 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。</p> <p>IV 職員の資質向上 ..... 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。</p>  |      |  |
| 3.重点目標         | <p>《1》平穩ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活の支援<br/>                 《2》利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア<br/>                 《3》利用者の重度化に対応する研修及びチームケアの定着</p> <p>*** 「食と排泄」ケアの充実<br/>                 *** HOL(happiness of life)の提供<br/>                 『目標稼働率(特養)97%、(短期)90%』<br/>                 『イベント企画と環境整備』<br/>                 『研修運営と多職種協働システム』</p> |      |  |
| 4.重点目標に対する取り組み |  |      |  |
| No             | 基本方針   | 重点目標 | 取組事項   |
| 1              | I II III   | 《1》  | <p>トータルケアの実践</p> <p>◇ 多職種協働における専門的ケアを以て、誤嚥性肺炎による入院を予防する。<br/>                 『目標:誤嚥性肺炎(10名以下) 総延入院日数870日以内』</p> <p>◇ 経口維持、移行のため多職種によるミールラウンド、カンファレンスを行い、最期まで口から食べることができるケアを提供する。</p> <p>◇ トイレでの排泄支援を目的としたケア向上を目指し、オムツ使用者の減少につなげるケアを確立する。</p> <p>◇ トータルケアや看とりについて、家族・地域へ情報発信し、理解、協力を得ることで取組の促進を図り、施設での穏やかな暮らしのサポートを行う。</p> <p>◇ 総合記録シートを活用し、多職種で情報を共有し事例検討を行うことにより、最後まで安心した在宅生活を送れるよう支援する。</p> <p>◇ BPSDの悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠ある丁寧なケアを実践し、穏やかな暮らしの支援を目指す。</p> <p>◇ 多職種との連携を図り、総合的な支援(食事・運動)を行いながら排泄用具を含め、より専門的な排泄ケアを目指す。</p> <p>◇ トイレでの排泄を目的とした自然排泄につながる支援を継続する。</p> <p>◇ 刺激性下剤使用量の減少を継続する。『目標:定期 5名⇒0名 臨時 10名⇒0名』</p> <p>◇ 美味しく・楽しめる・体にやさしい食事を目指し、軟らかい食・ソフト食の質、見た目の向上に努める。</p> <p>◇ 声と連携し、病気に配慮した療養食を提供する。</p> |

|   |          |     |            |   |
|---|----------|-----|------------|---|
|   |          |     | 機能訓練<br>部門 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 心身機能の維持・向上とトイレでの排泄につながる支援を目指す。</li> <li>◇ 口腔ケア(リハビリ)の周知徹底を目指す。</li> </ul>  |
| 2 | I II III | 《2》 | 全部門        | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ イベント企画</li> </ul>  |
| 3 | I        | 《2》 | 相談部門       | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 利用者の笑顔につながるイベント企画をユニット単位で実践する。また個別支援(外出・外泊)の提案・実践を目指す。</li> <li>◇ 家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。</li> </ul>   |
| 4 | IV       | 《3》 | 介護部門       | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 穏やかに暮らすことができるよう、居室の環境整備を行う。(居室担当制、備品整備・環境美化係による実践)</li> </ul>  |
| 4 | IV       | 《3》 | 全部門        | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 基礎介護勉強会、上級介護勉強会の実施。新人のJITシステムによる職員育成を目指す。</li> <li>◇ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。</li> </ul>   |
| 5 | I IV     | 《3》 | 全部門        | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 総合記録シートに基づいた記録を作成し、利用者の状態・状況把握を継続する。<br/>オペレーションシート(業務一覧表)を継続し、シートを活用したチームケアの定着を目指す。</li> <li>◇ 朝礼での適切な指示、部長・課長・主任・リーダーによる状態・状況のダブルチェック体制、各会議との連動を継続し、利用者一人ひとりへのケアの見直し、評価ができる体制整備を継続する。</li> <li>◇ アセスメントチェックシートを継続し、多職種での情報共有ツールとして、ケアの統一を目指す。</li> <li>◇ カンファレンス(認知症カンファレンス、ミーラウンド等)の充実を図り、多職種協働で利用者の状態悪化を予防する。</li> </ul> |
| 6 | I II III | 《2》 | 全部門        | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 防犯体制のチェック、見直し及び研修を実施することで、安心して生活できる施設づくりを行う。</li> <li>◇ 地震等の災害や火事発生等の非常時における訓練を実施するとともに、地域との協力体制の構築を目指す。</li> </ul>  |

1.運営理念

『今、ここで生きている  
人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底
  - II 地域包括ケアの推進
  - III 地域福祉の推進
  - IV 職員の資質向上
- 個人ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。  
関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。  
地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。  
自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》個別ケアとサービスの充実
  - 《2》家族・地域の住民・各事業所等との連携
  - 《3》施設内・外の研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図る
- 4.重点目標に対する取り組み

『目標人数：30名/日』

(要支援3名/日、要介護27名/日)

| No | 基本方針   | 重点目標 | 取組事項    | 取組内容  | 密 |
|----|--------|------|---------|---|---|
| 1  | I・II   | 《1》  | 個別ケアの実施 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 在宅版総合記録シートを活用。情報の共有による個々の体調管理をサポート、きめ細やかなサービス提供を目指す。</li> <li>② HOL(happiness of life)の提供を目指して、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。</li> <li>③ マシントレーニングを実施し、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。</li> <li>④ 認知症の方が役割を持ち、穏やかに過ごすことができるように支援する。</li> </ul> |   |
| 2  | II・III | 《2》  | 地域との交流  | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域と連携して、総合支援事業の実施。</li> <li>② 東温市通所の会や介護ネット東温への参加によるネットワークの構築。</li> <li>③ ボランティアの受け入れや地域(保育園・学校)、家族(おとこ塾等)との交流を増やす。</li> </ul>   |   |
| 3  | IV     | 《3》  | 職員研修    | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 総合支援事業の研修への参加および事業所内での勉強会の充実を図る。</li> <li>② 施設内・外研修へ参加し、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す</li> <li>③ 業務内容の見直し。(職務分担や記録システムの改善、オペレーションシート導入等)</li> </ul>  |   |
| 4  |        | 《2》  | 安定運営の確保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎月の実績に関心を持ち、車輦管理等のコスト意識を高める。</li> <li>② 介護支援専門員と連携して、広報活動を行い新規利用者の発掘を行う。</li> <li>③ 安定した運営のためにコスト意識を持ち、新たな加算取得を目指す。</li> </ul>   |   |

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

『目標人数：支援:25名 介護:105名 訪問調査:4件/月』

- 《1》在宅高齢者に対し、健康管理や介護に必要な情報の提供を個別的に行い、健康リスクの軽減を図る
- 《2》事業所内の研修や事例検討、実地演習及び外部研修等を通じてケアマネジメントの技術向上を図る
- 《3》地域と関わる機会を通じて施設や福祉の周知を図り、地域全体のネットワークづくりを行う

4.重点目標に対する取り組み

| No | 基本方針   | 重点目標              | 取組事項     | 取組内容  |
|----|--------|-------------------|----------|---|
| 1  | I II   | 《1》<br>《2》<br>《3》 | 在宅生活の維持  | <p>① 在宅版総合記録シートを活用することで個々の生活を具体的に把握し、自宅で安心して生活できるためのトータルケアをサービス事業所と協働して行う。</p> <p>② 総合支援事業を理解し、住民主体で生きがいや役割を持った生活が送れるようマネジメントを行う。</p> <p>③ 家族介護者の支援(おとこ塾等)及び、地域支援活動の推進(サロンへの出前講座等)において病气や介護の情報を発信し、介護予防の必要性や地域福祉を支える互助の大切さを伝える。</p> |
| 2  | I IV   | 《2》<br>《3》        | 資質の向上    | <p>① 事業所内・外の研修及び主任介護支援専門員による会議への同席や事例検討により、マネジメントの実践力を高め、在宅生活に必要な知識向上を目指す。</p> <p>② 介護支援専門員の対応及び提供内容の満足度のアンケートを実施し、集計・分析を通じて資質の向上に活かす。</p> <p>③ 地域ケア会議への積極的な参加や事例提出を行い、高度な事例への対応能力を高める。</p>   |
| 3  | II III | 《1》               | 地域活動への参加 | <p>① 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。</p> <p>② 地域サロン活動の支援・交流を通じ、地域の実情を把握するとともに、事業所や介護の知識等の周知を行う。</p>  |



1.運営理念

『 今、ここで生きている  
人々に寄り添うことを使命とする 』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底
  - II 地域包括ケアの推進
  - III 地域福祉の推進
  - IV 職員の資質向上
- ..... 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。  
 ..... 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。  
 ..... 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。  
 ..... 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤を整備する。
- 《2》施設内・外研修に参加し、ホームヘルパーの専門性と介護技術の向上を図る。
- 《3》効率的・安定的な事業所運営の基盤を整備する。

『目標人数(登録者): 要支援・要介護:50名/月  
障がい:10名/月』

4.重点目標に対する取り組み

| No | 基本方針     | 重点目標       | 取組事項            | 取 組 内 容  |
|----|----------|------------|-----------------|--|
| 1  | I II III | 《1》<br>《3》 | 利用者・家族・地域との交流促進 | ①利用者だけでなく家族との交流も深め、アンケートを実施し、問題の把握に努める。<br>②在宅部門と連携し、おとこ塾・地域サロン等に参加・交流する<br>③総合支援事業についての理解を深め、円滑な移行を図る。<br>④介護ネット東温への参加による地域ネットワークの構築  |
| 2  | I IV     | 《1》<br>《2》 | 専門性と介護技術の向上     | ①身体介護を中心としたサービスへの移行に伴う、ホームヘルパーのスキルアップを図る。<br>②在宅版総合記録シートを活用し、各職種との連携を図り、在宅生活をサポートする。<br>③毎月のヘルパー会において情報共有し、改善点の検討と勉強会を行い、ヘルパーの資質向上を図る。 |
| 3  |          | 《8》        | 安定運営の確保         | ①毎月の実績に関心を持ち、コスト意識を高める。<br>②介護支援専門員と連携し、広報活動を行い、新規利用者を増やす。   |

平成29年度 行事計画 「施設部門」 (案)

上半期

| 月 | 施設(内館)   | 施設(外館)   | 森区清掃  |
|---|--|--|---|
| 4 | <p>永眠者記念会<br/>おとこ塾(お花見)</p>                          | <p>松山城南高校(介護福祉) 4/17-4/28</p>                                  |   |
| 5 | <p>遠足(動物園)<br/>ワックス掛け(全館)</p>                        | <p>花の日訪問(東雲幼稚園・城南高等学校)<br/>東温市防火管理者連絡協議会役員会総会</p>              | <p>愛媛大学医学部看護科(体験)(予定)<br/>河原医療福祉専門学校(介護福祉) 5/26-6/23</p>  |
| 6 | <p>【防災】総合訓練(南方東自主防災会合同)</p>                          | <p>花の日訪問(東雲中学校・川上教会)<br/>愛隣保育園卒の苗つけ</p>                        | <p>河原医療福祉専門学校(介護福祉) 6/26-7/21<br/>河原医療福祉専門学校(介護福祉) -6/23</p>  |
| 7 | <p>【防災】東温市防災センター(煙避難・地震体験)</p>                       | <p>サマーボランティア受付~9月<br/>夏休み福祉の仕事1日体験(職場体験学習) 受入<br/>東温高校奉仕活動</p> | <p>河原医療福祉専門学校(介護福祉) -7/21<br/>東温高校(介初任実習) 7/25-7/28<br/>松山城南高校(介護福祉) 7/31-8/11</p>  |
| 8 | <p>入居者レントゲン検診<br/>【防災】普通救命講習(I)<br/>おとこ塾(流しそうめん)</p> | <p>しあわせのつどい(国際ホテル)<br/>夏休み福祉の仕事1日体験反省報告会<br/>観月祭花火観賞</p>       | <p>聖カトリナ大学(社会福祉) 8/4-9/20<br/>松山東雲女子大学(社会福祉) 8/17-9/19<br/>聖カトリナ大学(介護福祉) 8/10-9/6<br/>松山城南高校(介護福祉) 8/7-8/21<br/>松山城南高校(介護福祉) -8/11</p>            |
| 9 | <p>東温市長一日施設長就任・赤ちゃんに贈呈式<br/>【防犯】防犯訓練</p>             | <p>地域運動会参加<br/>東温市文化祭打ち合わせ<br/>GHやわらぎ夏祭り参加</p>                 | <p>聖カトリナ大学(社会福祉) -9/20<br/>松山東雲女子大学(社会福祉) -9/19<br/>聖カトリナ大学(介護福祉) -9/6<br/>河原医療福祉専門学校(介護福祉) 9/25-10/27<br/>河原医療大学校(老年看護学実習)<br/>愛媛大学医学部(介護体験)</p> |

平成29年度 行事計画 「施設部門」 (案)

下半期

| 項目  | 施設(内部)  | 施設(外部)  | 必要習得人(職種)  |
|-----|---|---|--|
| 10. | 秋祭り(森地区ノ松瀬川地区獅子舞)<br>運動会<br>つり外出  |   | 河原医療福祉専門学校(介護福祉) -10/27<br>松山城南高校(介護福祉) ①10/30-11/10②10/30-11/17<br>愛媛大学医学部看護科(老年看護学実習)                                      |
| 11. | ガリラヤ荘感謝祭<br>ワックス掛け(廊下・共用スペース)<br>【防災】夜間想定消防訓練(夜間の通報・非常招集)   | 収穫感謝訪問(松山城南高等学校・東雲幼稚園)<br>愛隣保育園芋掘り<br>東温市文化祭出展・見学   | 河原医療福祉専門学校(介護福祉) 11/13-12/1<br>松山城南高校(介護福祉) ①-11/10②-11/17<br>愛媛大学医学部(老年看護学実習)   |
| 12. | クリスマス会<br>忘年会   | 東温市歳末施設訪問(共同募金)<br>ウィンターポランティア受入～1月<br>川上教会クリスマスマス訪問  | 河原医療福祉専門学校(介護福祉) -12/1   |
| 1   | 新生会<br>おとこ塾(新年会)  |   | 松山城南高校(介護福祉) 1/15-1/19   |
| 2   |   |   | 聖カタリナ大学(介護福祉) 2/12-3/9<br>松山大学(社会福祉) 2/1-3/9   |
| 3   | 家族会総会   | 消防出初式   | 聖カタリナ大学(介護福祉) -3/9<br>松山大学(社会福祉) -3/9  |
| 予定  | 各食事会・喫茶<br>食事作り・おやつ作り<br>屋外散歩・シヨッピング<br>映画鑑賞 等<br>クラブ・レクリエーション活動<br>俳句会・・・第4水曜日<br>陶芸クラブ...第1・第3水曜日<br>音楽クラブ...週1回 縫布クラブ...第1火曜日<br>風船バレー...週1回<br>習字の会...第2水曜日<br>すずらん会(女子座談会)・くすのき会(男子座談会) ...月1回 | ともしび会(奉仕)<br>介護相談員(傾聴・相談) ...毎月<br>紙芝居ポランティア(余暇) ...月2回<br>トーンチャイムレインボー(余暇) ...年4回<br>オカリナーナぞよ風(余暇) ...年4回<br>笑顔に会いたい(傾聴) ...毎月 | 毎月の予定<br>入居者体重測定<br>入居者誕生宴会会《案内》<br>ケアカンファレンス<br>ミーラウンド<br>研修各種<br>委員会各種<br>会議各種<br>職員関係<br>職員健康診断(年1回)<br>介護職(夜勤者)健康診断(年1回) |

平成28年度 行事計画 「デイサービス部門」 (案)

上半期

| 項 | デイサービス (企画部)                                    | デイサービス (物部)   | 各施設受入 (予定)   |
|---|---|---|--|
| 4 | お花見ドライブ<br>ぼたん見物                                |   | 松山城南高校 (介護福祉) 4/11--4/22   |
| 5 | こいのぼり見物<br>さつき見物                                | 東温市通所の会   | 愛媛大学医学部看護科 (体験) (予定)<br>松山東雲短期大学 (介護福祉) 5/23--6/10   |
| 6 | あじさい見物<br>【防災】総合訓練 (南方東自主防災会合同)                 | 愛隣保育園芋の苗つけ  | 河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 6/13--7/8<br>松山東雲短期大学-6/10   |
| 7 | そうめん流し外出<br>【防災】東温市防災センター (煙避難・地震体験)            | サマーボランティア受付~9月<br>夏休み福祉の仕事1日体験 (職場体験学習) 受入<br>東温高校奉仕活動<br>東温市通所の会 | 河原医療福祉専門学校 (介護福祉) -7/8<br>東温高校 (介初任実習) 7/26--7/27<br>松山城南高校 (介護福祉) 7/25--8/5   |
| 8 | デイ夏祭り<br>【防災】普通救命講習 (I)                         | 夏休み福祉の仕事1日体験反省報告会   | 聖カトリナ大学 (社会福祉) 8/5--9/6<br>松山東雲女子大学 (社会福祉) 8/17--9/16<br>聖カトリナ大学 (介護福祉) 8/11--9/7<br>松山城南高校 (介護福祉) 8/8--8/22<br>松山城南高校 (介護福祉) -8/5 |
| 9 | 東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ贈呈式<br>デイ敬老会<br>運動会<br>ぶどう狩り外出 | 東温高校運動会見物<br>東温市意見交換会<br>東温市文化祭打合せ<br>東温市通所の会                     | 聖カトリナ大学 (社会福祉) -9/6<br>松山東雲女子大学 (社会福祉) -9/16<br>河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 9/12--9/30<br>河原医療大学 (老年看護学実習)<br>愛媛大学医学部 (介護体験)                 |

平成28年度 行事計画 「デイサービス部門」 (案)

下半期

| 月  | デイサービス(内務)   | デイサービス(総務)   | 各部署要人(予定)  |
|----|--|--|--|
| 10 | <p>デイ運動会</p> <p>【防災】消防訓練(夜間の通報・非常招集)</p>   | <p>東温市獅子舞見物(公民館)</p> <p>東温市消防祭見物(東温消防署)</p>  | <p>河原医療福祉専門学校(介護福祉) 10/17-11/18</p> <p>松山城南高校(介護福祉) ①10/31-11/18 ②10/31-11/11</p> <p>愛媛大学医学部看護科(老年看護学実習)</p> |
| 11 | <p>ガリラヤ荘感謝祭</p> <p>紅葉狩り</p> <p>銀杏並木見物</p>  | <p>東温市文化祭出展・見学</p> <p>愛隣保育園芋掘り</p> <p>川上小学校交流会</p> <p>東温市通所の会</p>  | <p>河原医療福祉専門学校(介護福祉) -11/18</p> <p>松山城南高校(介護福祉) ①-11/18 ②-11/11</p> <p>愛媛大学医学部(老年看護学実習)</p>                   |
| 12 | <p>デイクリスマス会</p> <p>忘年会</p> <p>もちつき</p>   | <p>川内保育園(おゆうぎ会)</p> <p>ウインターポランティア受入～ 1月</p>   |  |
| 1  | <p>初詣</p> <p>新年会</p>   | <p>東温市通所の会</p>   | <p>松山城南高校(介護福祉) 1/23-1/27</p>  |
| 2  | <p>節分(豆まき)</p>   | <p>東温市意見交換会</p>  | <p>聖カタリナ大学(介護福祉) 2/13-3/10</p> <p>松山大学(社会福祉) 2/3-3/2</p>   |
| 3  | <p>梅見物</p> <p>菜の花畑見物</p> <p>いちご狩り外出</p>  | <p>川内保育園(おひなまつり会)</p> <p>川上幼稚園交流会</p> <p>東温市通所の会</p>   | <p>聖カタリナ大学(介護福祉) -3/10</p> <p>松山大学(社会福祉) -3/2</p>  |
| 4  | <p>陶芸</p> <p>紙芝居</p> <p>三味線</p> <p>シャンソン</p> <p>琴演奏会</p> <p>トーンチャイム</p> <p>たんぽぽグループ</p> <p>傾聴ボランティア</p> <p>フラダンス</p> <p>日本舞踊</p> <p>ギタ</p> | <p>利用者体重測定</p> <p>・ナイ会(第3月曜) ・運営委員会(第3月曜)</p> <p>・各種委員会(毎週火曜) ・突合</p> <p>・東温市通所の会(隔月第2水曜)</p> <p>・おやつバイキング・イベント食</p> <p>・外食 ・お買い物行事 ・お誕生日会</p> <p>・片手薬師参拝(毎月12日)</p> <p>・季節ドラライブ</p> <p>・請求業務 ・レジオネラ菌検査(3か月毎)</p> <p>・縫布クラブ(第1火曜日)</p> | <p>職員健康診断(年1回)</p> <p>職員業務評価(年2回)</p> <p>自己点検(年度末)</p> <p>基礎介護勉強会</p> <p>上級介護勉強会</p> <p>職員会(年4回)</p>         |

# 平成29年度 会議・委員会

【会議】《全体》

＜平成29年5月～平成30年4月末＞

| 全 議 名           | 開 催 日             | 時 間           | 参 加 者                       | 内 容                          |
|-----------------|-------------------|---------------|-----------------------------|------------------------------|
| 運営会議<br>(部長/課長) | 第3月曜              | 15:00～        | 理事長/施設長/各部長/各課長<br>各部屋連絡・報告 | ガリラヤ荘における業務に関する話し合い(提案・実施状況) |
| 職員会議            | 6月・9月<br>12月・3月・他 | 第4週<br>18:00～ | 全 職 員                       | 施設運営に関する職員間の情報の共有。職員研修       |

【会議】《部門》

| 部 門     | 全 議 名                   | 開 催 日 | 時 間    | 責任者            | 参 加 者                                       | 内 容                         |
|---------|-------------------------|-------|--------|----------------|---|-----------------------------|
| 特 殊 短 報 | ケアカンファレンス               | 第1週   | (終日)   | 施設ケアマネ         | 各担当ケアマネ/部長/課長/主任/管理栄養士/機能訓練指導員              | 各計画検討(介護・栄養・機能)             |
|         | 主任/リーダー会                | 第3月曜  | 16:30～ | 生活支援部<br>部長    | 部長/課長/主任/副主任/リーダー/サブリーダー/相談員/管理栄養士/ST等      | 実習導入推進委員会<br>口腔ケア検討会を兼ねる    |
|         | ユニット会議                  | 第4.5週 | 随時調整   | ユニット<br>リーダー   | ユニットリーダー/サブリーダー/ユニットスタッフ 他(必要に応じて課長/主任(補)等) | ユニットにおけるケアの検討・確認            |
|         | ケースカンファレンス<br>(各困難事例検討) | 随時    | 随時調整   | 生活支援部<br>部長/課長 | 各事例に合わせて                                    | 食事・認知症困難事例<br>入・退院振り返り等     |
| デ イ     | デイ会                     | 第4週   | 17:30～ | デイサービス<br>主任   | 主任/副主任/デイサービススタッフ 他(必要に応じて部長/課長等)           | デイサービスにおける業務・事例検討<br>職員研修   |
|         | ヘルパー会                   | 毎月末   | 18:00～ | サービス担<br>責任者   | サービス担当責任者/ホームヘルパー 他(必要に応じて部長/課長等)           | 訪問介護における業務・事例検討<br>職員研修     |
| 居 宅 支 援 | 週 例 会                   | 毎水曜   | 9:15～  | 居宅主任           | 居宅主任/居宅ケアマネ 他(必要に応じて部長/課長)                  | 多職種協働による事例検討                |
|         | 東温市地域ケア会議               | **    | **     | **             | (主催:東温市包括支援センター)                            | 介護保険関係情報、介護用品紹介等            |
|         | 東温市・包括、在宅連絡会            | **    | **     | **             | (主催:東温市保険年金課)                               | 地域高齢者の情報交換、連絡事項伝達           |
| 外 部     | 介護ネットワーク東温              | **    | **     | **             | (事務局:東温市社会福祉協議会)                            | 事業者間サービス実地確認、情報確認<br>研修、親睦会 |

【委員会】

| 部 門 | 全 議 名                   | 開 催 日     | 時 間    | 責任者             | 参 加 者                     | 内 容   |
|-----|-------------------------|-----------|--------|-----------------|---------------------------|---|
| 全 体 | 身体拘束虐待防止委員会             | 毎月第1水曜    | 16:00～ | 生活支援部<br>課長/主任  | 部長/課長/主任、各ユニット担当者         | 身体拘束・虐待防止の研修と事例検討                                       |
|     | 衛生管理委員会<br>(メンタルヘルス委員会) | 毎月第2火曜    | 16:00～ | 生活支援部<br>課長/主任  |                           | 感染予防の研修と発症時の対応と報告                                       |
|     | 事故防止委員会                 | 毎月第2火曜    | 16:30～ | 生活支援部<br>課長/主任  |                           | 事故報告の検討と再発防止対策  |
|     | 栄養/給食委員会                | 毎月第3火曜    | 16:00～ | 管理栄養士           |                           | 委託先業者を交えての給食に関する報告と検討                                   |
|     | 褥瘡予防委員会                 | 毎月第3火曜    | 16:00～ | 生活支援部<br>課長/主任  |                           | 褥瘡予防の研修と予防・対応の検討  |
|     | 人権擁護並びに苦情相談委員会          | 年1回以上     | 随時調整   | 施設長             | 施設長/各部長/各課長/各主任           | 利用者の権利擁護及び苦情申出に対し公正かつ適正に解決することを目的とする<br>救命講習と消防訓練の計画・実施 |
| 特 殊 | 防火管理(消防訓練他)             | 年間4回      | 随時調整   | 防火管理者           | 全職員                       |   |
|     | 在宅委員会                   | 毎月第3水曜    | 15:00～ | 在宅支援部<br>部長/課長  | 理事長/施設長/在宅支援課部長・課長・主任     | 在宅居宅包括支援センターの導入、困難事例の検討、おとこ塾・出前講座の企画及び調整                |
| 特 殊 | 入所判定委員会                 | 6・9・12・3月 | 随時調整   | 生活支援部<br>課長/相談員 | 施設長/生活支援課部長・課長・相談員・外部委員2名 | 特養入所判定基準に基づく入所者の検討                                      |

平成27年度 研修計画 (案)

| 研修項目            | 4月   | 5月                        | 6月                        | 7月                        | 8月                        | 9月                        | 10月                       | 11月                       | 12月                       | 1月                        | 2月                        | 3月                        |
|-----------------|--|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 外部研修 (全体)       | その他 (年間通して)<br>中予・県老人福祉施設協議会主催各研修  |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |
| 各資格取得試験 (全体)    | 介護士課程<br>専門員試験<br>介護福祉士<br>社会福祉士<br>特別指導員<br>介護福祉士<br>実務試験<br>介護福祉士<br>実務試験<br>介護福祉士<br>実務試験 |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |                           |
| 内部研修 (全体) (各部門) | 新入研修<br>回数: 7回   | 新人/現任研修<br>回数: 7回         | 認知症<br>リーダー               | 排遣<br>リーダー                | 食事<br>リーダー                | 移乗<br>リーダー                | 入浴<br>リーダー                | 指導                        |                           |                           |                           |                           |
| 基礎介護            | 内容<br>講師<br>9回×2<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>3回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>12回<br>(30m)  | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   |
| 上級介護1 (介護50)    | 内容<br>講師<br>3回×2<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>3回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>12回<br>(30m)  | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   |
| 上級介護2 (介護50)    | 内容<br>講師<br>12回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   |
| 各試験対策講座         | 内容<br>講師<br>**   | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            |
| トータルケア研修 (栗田先生) | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)  | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   | 内容<br>講師<br>不定期<br>(終日)   |
| 口聴              | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) |
| 事故防止            | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   |
| 身体拘束虐待防止        | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   |
| タナーミナルケア        | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   |
| その他             | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) |
| 衛生管理            | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) | 内容<br>講師<br>2回×2<br>(60m) |
| 接遇              | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>2回<br>(60m)   |
| 職員会議            | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)  | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   | 内容<br>講師<br>4回<br>(30m)   |
| 防災・防犯           | 内容<br>講師<br>**   | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            | 内容<br>講師<br>**            |
| デイ研修            | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   |
| 居宅・支援研修         | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)  | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   | 内容<br>講師<br>1回<br>(60m)   |

※毎月1~2回

※3か月ごと、計4回程度 (予定)

外部: 地域包括在宅介護支援センター協賛会・東温市ケアマネ勉強会等

## 1.運営理念

『 今、ここで生きている  
人々に寄り添うことを使命とする 』

## 2.基本方針

- I 個別援助の徹底 ..... 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを旨す。  
 II 地域包括ケアの推進 ..... 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。  
 III 地域福祉の推進 ..... 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを旨す。  
 IV 職員の資質向上 ..... 自己研鑽に励み、成長を続けることを旨す。

## 3.重点目標

- 《1》平穩ケア(トータルケア)の構築  
 《2》安心と信頼ある地域密着の施設創り  
 《3》人材育成と安定した施設運営の基盤整備

## 4.重点目標に対する取り組み

| No | 基本方針   | 重点目標   | 取組事項                          | 取組内容  |
|----|--------|--------|-------------------------------|---|
| 1  | I IV   | 《1》    | 命と尊厳を守り<br>安心して生活<br>できる施設づくり | ① 新規採用スタッフの基礎介護力を高め、専門職が連携し、統一したケアの提供。<br>② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底。<br>③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底。(集団発生0件目標)    |
| 2  | II III | 《1》《2》 | 在宅生活の<br>支援                   | ① 地域関係機関と連携し、地域の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進。<br>② 職員の地域活動推進。(必要なニーズの調査、支援可能な体制の調整)<br>③ 在宅生活をトータル的にサポートするために、在宅版総合記録シートを導入した在宅部門の連携。 |
| 3  | III    | 《2》《3》 | 広報活動の<br>充実                   | ① ホームページ、SNSによる積極的な情報の配信、施設見学の受入と、関係事業所への営業活動。<br>② 地域住民参加イベント企画、ボランティア活動の受入など計画的に実施。                                       |
| 4  | IV     | 《3》    | やりがいを感じ<br>働きやすい<br>職場づくり     | ① ガリラヤ米スタッフ心得の徹底と、職員育成の推進(研修計画の達成)<br>② 新規採用スタッフの離職ゼロを目指すし、きめ細やかな面談実施及びフォローアップ体制の整備   |
| 5  |        | 《3》    | 安定運営の<br>確保                   | ① 各事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。<br>② 施設運営に関わる財務・組織・事業管理における基盤の整備を図る。   |



1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 ..... 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 ..... 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 ..... 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 ..... 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》 平穩ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立
  - 《2》 利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作り出すケア(ハピネスオブライフ)の確立
  - 《3》 利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立
- 『目標稼働率(特養)90%、(短期)80%』  
『イベント企画と環境整備』  
『研修運営と多職種協働システム』

4.重点目標に対する取り組み

| No | 基本方針     | 重点目標 | 取組事項      | 取組内容   |
|----|----------|------|-----------|--|
| 1  | I II III | 《1》  | トータルケアの実践 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。</li> <li>◇ BPSDの悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。</li> </ul>            |
| 2  | I II III | 《2》  | イベント企画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 利用者の笑顔につながるイベント企画をユニット単位で実践する。</li> <li>◇ 家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。</li> </ul>                                |
| 3  | I        | 《2》  | 環境整備      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 穏やかに暮らすことができるよう、居室の環境整備を行う。(居室担当制、備品整備・環境美化による実践)</li> <li>◇ 中重度の利用者が生活しやすい、安全な環境整備を行う。</li> </ul>                  |
| 4  | IV       | 《3》  | 研修運営      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。</li> <li>◇ 特に基礎介護勉強会及びOJシステムを活用した育成環境の整備を行う。</li> </ul>                                |
| 5  | I IV     | 《3》  | 多職種協働システム | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築</li> <li>◇ オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。</li> </ul> |

各項目、ガリラヤ荘で取り組むシステムを継承した初年度整備を行う。

事業所名(部署) 認知症対応型老人共同生活援助

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》平穩ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立
- 《2》利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作り出すケア(ハピネスオプティブ)の確立
- 《3》利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立

- 『目標稼働率(GH)90%』
- 『イベント企画と環境整備』
- 『研修運営と多職種協働システム』

4.重点目標に対する取り組み

| No | 基本方針     | 重点目標 | 取組事項      | 取組内容   |
|----|----------|------|-----------|--|
| 1  | I II III | 《1》  | トータルケアの実践 | 全部門<br>〔共通<br>目標〕<br>◇ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。<br>BPSDの悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。                         |
| 2  | I II III | 《2》  | イベント企画    | 全部門<br>〔共通<br>目標〕<br>◇ 積極的な外出支援、地域行事に参加ができる体制づくり。<br>家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。   |
| 3  | I        | 《2》  | 環境整備      | 全部門<br>〔共通<br>目標〕<br>◇ 穏やかに暮らすことができるよう、居室の環境整備を行う。(居室担当制、備品整備・環境美化による実践)<br>生活場面において自立を支援する働きかけから、認知症予防につながる環境づくりを行う。(食堂、リビングでの共同作業) |
| 4  | IV       | 《3》  | 研修運営      | 全部門<br>〔共通<br>目標〕<br>◇ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。<br>特に基礎介護勉強会及びOJTシステムを活用した育成環境の整備を行う。  |
| 5  | I IV     | 《3》  | 多職種協働システム | 全部門<br>〔共通<br>目標〕<br>◇ アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築<br>オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。              |

各項目、ガリヤ荘で取り組むシステムを継承した初年度整備を行う。

1.運営理念

『今、ここで生きている  
人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底
  - II 地域包括ケアの推進
  - III 地域福祉の推進
  - IV 職員の資質向上
- 個別ケアを大切に、利用者が心豊かに生活することを旨とする。  
関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。  
地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを旨とする。  
自己研鑽に励み、成長を続けることを旨とする。

3.重点目標

- 《1》個別ケアとサービスの充実
- 《2》家族・地域の住民・各事業所等との連携
- 《3》施設内・外の研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図る

『目標人数：12名/日』  
(要支援 5名/日、要介護 7名/日)

4.重点目標に対する取り組み

| No | 基本方針   | 重点目標 | 取組事項    | 取組内容  |
|----|--------|------|---------|---|
| 1  | I・II   | 《1》  | 個別ケアの実施 | ① 居宅生活アセスメント及び体力測定を実施し情報の共有を行い、きめ細かなサービス提供を目指す。<br>② HOL(happiness of life)の提供を目指して、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。<br>③ マシントレーニングを含む個別機能訓練を充実させ、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。 |
| 2  | II・III | 《2》  | 地域との交流  | ① 地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。<br>② ボランティアの受け入れや地域(保育園・学校等)、家族との交流を増やす。<br>③ 地域との交流を行い、地域の行事等へ積極的に参加する。  |
| 3  | IV     | 《3》  | 職員研修    | ① 総合事業の研修への参加、及び事業所内での勉強会の充実を図る。<br>② 施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。<br>③ 職員の適材適所を図り、職務分担を行う。  |
| 4  |        | 《2》  | 安定運営の確保 | ① 毎月の実績に関心を持ち、車輦管理等のコスト意識を高める。<br>② 介護支援専門員と連携し、広報活動を行い新規利用者の発掘を行う。<br>③ 安定した運営のために、管理及びコスト意識を持つ。   |

各項目、ガリラヤ社で取り組みシステムを継承した初年度整備を行う。

1.運営理念

『今、ここで生きている  
人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 ..... 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 ..... 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 ..... 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 ..... 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》在宅高齢者に対し、健康管理や介護に必要な情報の提供を個別的に行い、健康リスクの軽減を図る
- 《2》事業所内の研修や事例検討、実地演習及び外部研修等を通じてケアマネジメントの技術向上を図る
- 《3》地域と関わる機会を通じて施設や福祉の周知を図り、地域全体のネットワークづくりを行う

4.重点目標に対する取り組み

『目標人数：支援:13名 介護:60名』

| No | 基本方針   | 重点目標              | 取組事項     | 取組内容  |
|----|--------|-------------------|----------|---|
| 1  | I II   | 《1》<br>《2》<br>《3》 | 在宅生活の維持  | ① 在宅版総合記録シートやアセスメント表を活用し、自宅で安心して生活できるためのトータルケアを、サービス事業所と協働して行う。<br>② 総合事業を理解し、住民主体で生きがいや役割を持った生活が送れるようマネジメントを行う。<br>③ 地域包括支援センター等が主催する勉強会や地域活動の情報収集し、社会資源を取り入れたマネジメントを行う。 |
| 2  | I IV   | 《2》<br>《3》        | 資質の向上    | ① 事業所内・外の研修に参加し、基礎介護やマネジメント等の在宅生活に必要な知識向上を目指す。<br>② 総合支援事業に円滑に移行できるよう情報収集するとともに、地域に必要なサービスの提案を行う。   |
| 3  | II III | 《1》               | 地域活動への参加 | ① 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。<br>② 地域サロン活動の支援・交流を行い、地域の実情を把握するとともに、施設の周知を行う。   |

各項目、ガリヤヤ荘で取り組みシステムを継承した初年度整備を行う。

事業所名(部署) 介護付有料老人ホーム

1. 運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2. 基本方針

- I 個別援助の徹底
  - II 地域包括ケアの推進
  - III 地域福祉の推進
  - IV 職員の資質向上
3. 重点目標

《1》平穩ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立

《2》利用者がうるおい、笑顔のある暮らした喜びを感じる毎日を作り出すケア(ハピネスオブライフ)の確立

《3》利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立

『目標稼働率(有料)80%』

『イベント企画と環境整備』

『研修運営と多職種協働システム』

4. 重点目標に対する取り組み

| No | 基本方針     | 重点目標 | 取組事項      | 取組内容   |
|----|----------|------|-----------|--|
| 1  | I II III | 《1》  | トータルケアの実践 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。</li> <li>◇ BPSDの悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。</li> </ul>            |
| 2  | I II III | 《2》  | イベント企画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 積極的な外出支援、地域行事に参加ができる体制づくり。</li> <li>◇ 介護予防につながるアクティブ活動を重視した、リハビリ活動を確立と、多種多様な余暇を企画する。</li> </ul>                     |
| 3  | I        | 《2》  | 環境整備      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自立から要支援、要介護状態、それぞれのニーズを把握し、共用スペースの環境整備を行う。</li> <li>◇ 介護が必要になっても安心して生活できる環境整備と、専門スタッフ間での連携により、質の高い支援を行う。</li> </ul> |
| 4  | IV       | 《3》  | 研修運営      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。</li> <li>◇ 特に基礎介護勉強会及びOJTシステムを活用した育成環境の整備を行う。</li> </ul>                               |
| 5  | I IV     | 《3》  | 多職種協働システム | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築</li> <li>◇ オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。</li> </ul> |

各項目、ガリラヤ荘で取り組みシステムを継承した初年度整備を行う。

# 平成29年度 行事計画 (案)

|    |                                  |              |
|----|----------------------------------|--------------|
|    | 全体                               | 他            |
| 4月 | 入職式 (4/1)<br>採用職員研修 (4/1-4/30)   | 開設準備         |
| 5月 | 内覧会<br>落成式<br>開所 (入居開始) (5/22予定) | 開設準備<br>防災訓練 |

|            |   |   |  |  |
|------------|---|---|--|--|
| 入居部門<br>予定 | 行事 (毎月)   | クラブ/レクリエーション (毎月)   | ボランティア受入れ                                    | 奉仕活動<br>傾聴・相談<br>余暇活動 (紙芝居)<br>余暇活動 (トーンチャイム)<br>余暇活動 (コーラス)<br>職員予定 (年)<br>職員健康診断 (年1回)<br>介護職 (夜勤者) 健康診断 (年1回)<br>職員業務評価 (年2回)<br>自己点検 |
|            | 各食事会・喫茶<br>食事・おやつ作り<br>各外出 (散歩、ショッピング)<br>入居者予定 (毎月)<br>体重測定<br>誕生屋食会案内 | 俳句クラブ<br>陶芸クラブ<br>音楽クラブ<br>布縫クラブ<br>職員予定 (毎月)<br>ケアカンファレンス<br>ミールラウンド<br>会議 (各種)<br>委員会 (各種)<br>研修 (各種) | 風船パレ<br>習字<br>すずらん会 (女子座談会)<br>くすのき会 (男子座談会) | 余暇活動 (三味線)<br>余暇活動 (和太鼓)<br>余暇活動 (琴)<br>余暇活動 (フラダンス)<br>余暇活動 (日本舞踊)  |

|            |   |  |           |  |
|------------|---|--|-----------|--|
| 通所部門<br>予定 | ユニツ出行事 (毎月)   | クラブ/レクリエーション (毎月)  | ボランティア受入れ | 奉仕活動<br>傾聴・相談<br>余暇活動 (紙芝居)<br>余暇活動 (トーンチャイム)<br>余暇活動 (コーラス)<br>職員予定 (年)<br>職員健康診断 (年1回)<br>介護職 (夜勤者) 健康診断 (年1回)<br>職員業務評価 (年2回)<br>自己点検 |
|            | バイキング<br>イベント食<br>各外出 (外食、ショッピング、参拝、ドライブ)<br>誕生日会<br>入居者予定 (毎月)<br>体重測定 | 俳句クラブ<br>陶芸クラブ<br>布縫クラブ<br>職員予定 (毎月)<br>地域各会議 (各種)<br>会議 (各種)<br>委員会 (各種)<br>研修 (各種) | 習字        | 余暇活動 (三味線)<br>余暇活動 (和太鼓)<br>余暇活動 (琴)<br>余暇活動 (フラダンス)<br>余暇活動 (日本舞踊)  |

# 平成29年度 会議・委員会

<平成29年5月～平成30年4月末>

## 【会議】《全体》

| 開催日               | 時間 | 参加者                 | 内容  |
|-------------------|----|---------------------|---|
| 第**週              | ** | 理事長/施設長/各部長/各課長/各主任 | ガリヤヤク米における業務に関する話し合い(提案・実施状況)<br>各部署連絡・報告 |
| 6月・9月<br>12月・3月・他 | ** | 全職員                 | 施設運営に関する職員間の情報の共有。職員研修                    |

## 【会議】《部門》

| 開催日                | 時間   | 責任者             | 参加者  | 内容   |
|--------------------|------|-----------------|--|--|
| 7月・9月・11月<br>1月・3月 | **   | 管理者             | 施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービス職員の知見を有する人など | 各計画検討(介護・栄養・機能)  |
| 第**週               | **   | 計画作成担当者         | 計画作成担当者、介護職、他(必要に応じて専門職)   | ユニットにおけるケアの検討・確認   |
| 第**週               | **   | 管理者<br>計画作成担当者  | 管理者、計画作成担当者、介護職、他  | 食事・認知症困難事例<br>入・退院搬送等  |
| 随時                 | 随時調整 | 生活支援部           | 各事例に合わせて   |  |
| 7月・9月・11月<br>1月・3月 | **   | 生活相談員<br>施設ケアマネ | 施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービス職員の知見を有する人など | 各計画検討(介護・栄養・機能)  |
| 第**週               | **   | 施設ケアマネ          | 施設ケアマネ、介護主任、看護主任、管理栄養士、機能訓練指導員、生活相談員、他                                   |  |
| 第**週               | **   | 介護主任<br>生活相談員   | 介護主任、生活相談員、ユニットリーダー、看護主任、管理栄養士、機能訓練指導員、施設ケアマネ、他                          | 実習受入推進委員会<br>口腔ケア検討会を兼ねる   |
| 第**週               | **   | ユニット<br>リーダー    | 介護主任、ユニットリーダー、介護職、他  | ユニットにおけるケアの検討・確認   |
| 随時                 | 随時調整 | 生活支援部           | 各事例に合わせて   | 食事・認知症困難事例<br>入・退院搬送等  |
| 第**週               | **   | 計画作成担当者         | 計画作成担当者、生活相談員、介護職、看護職、他(必要に応じて専門職)                                       | 各計画検討(介護・栄養・機能)  |
| 第**週               | **   | 生活相談員           | 生活相談員、計画作成担当者、介護職、看護職、他  | ユニットにおけるケアの検討・確認   |
| 随時                 | 随時調整 | 生活支援部           | 各事例に合わせて   | 食事・認知症困難事例<br>入・退院搬送等  |
| 9月・3月              | **   | サービス<br>主任      | 施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービス職員の知見を有する人など | 介護・栄養・機能<br>ケアに関する自己評価や外部評価結果の届出、目標達成計画のモニタリングとしての役割、地域や行政との連携、交流、調整、情報交換と連携 |
| 第**週               | **   | サービス<br>主任      | サービス主任、介護職、ケアマネ、他  | サービス・ピアスにおける業務・事例検討<br>職員研修  |
| 第**週               | **   | 居宅ケアマネ          | サービス主任、介護職、ケアマネ、他  | 多職種連携による事例検討   |
| **                 | **   | **              | サービス主任、介護職、ケアマネ、他  | 介護関係関係情報、介護用品紹介等   |
| **                 | **   | **              | **   | 地域高齢者の情報交換、連絡事項伝達  |
| **                 | **   | **              | **   | 事業者間サービス実態確認、情報確認<br>研修、懇話会  |

(※1) 運営推進会議については地域密着型サービスにおいて、必要な会議であるが、併設事業において一律運営可能(おむね6か月以上1回以上)  
(※2) 7 (おむね6か月以上1回以上)

# 平成29年度 会議・委員会

<平成29年5月～平成30年4月末>

## 【委員会】

| 部門                            | 会議名                      | 開催日   | 時間   | 責任者              | 参加者                 | 内容                                       |
|-------------------------------|--------------------------|-------|------|------------------|---------------------|--|
| 全体                            | 身体拘束虐待防止委員会              | 第**週  | **   | 生活相談員            | 部長/課長/主任、各事業担当者     | 身体拘束・虐待防止の研修と事例検討                        |
|                               | 衛生管理委員会<br>(メンタルヘルス委員会合) | 第**週  | **   | 看護主任<br>介護主任     |                     | 感染予防の研修と発症時の対応と報告                        |
|                               | 事故防止委員会                  | 第**週  | **   | 各ケアマネ<br>機能訓練指導員 |                     | 事故報告の検討と再発防止対策                           |
|                               | 栄養/給食委員会                 | 第**週  | **   | 管理栄養士            |                     | 委託先業者を交えての給食に関する報告と検討                    |
|                               | 褥瘡予防委員会                  | 第**週  | **   | 看護主任<br>介護主任     |                     | 褥瘡予防の研修と予防・対応の検討                         |
| 人権擁護並びに苦情相談委員会<br>防火管理(消防訓練他) | 人権擁護並びに苦情相談委員会           | 年1回以上 | 随時調整 | 各部長              | 施設長/各部長/各課長/各主任     | 利用者の権利擁護及び苦情申出に対し公正かつ適正に解決することを目的とする     |
|                               | 防火管理(消防訓練他)              | 年間4回  | 随時調整 | 防火管理者            | 全職員                 | 救命講習と消防訓練の計画・実施                          |
|                               | 在宅委員会                    | 第**週  | **   | 在宅支援<br>部長       | 理事/施設長/施設長/部長/課長/主任 | 在宅居延総合記録シートへの記入、困難事例の検討、おとこ塾・出前講座の企画及び調整 |
|                               | 入所判定委員会                  | 3ヶ月1回 | 随時調整 | 生活相談員            | 施設長/部長/課長/主任/外部委員2名 | 特養入所判定基準に基づく入所者の検討                       |



